

# 市民文芸

## 短歌

阿南市春季短歌誌上大会 選

入選 この世にていちばん遠くなりし人 小畑 定弘

ぼん桜は墓を見下ろす 小畑 定弘

入選 世界中コロナウイルスふきあれて雛の屋敷もあかずの扉 松江 敬子

この藪の細道かよう青鷺に幼なの時の青い鳥みゆる 渡邊 良子

入選 終戦の貧しさを生き令和の現在デイケアに集い友と楽しむ 宮本久美子

入選 ギブスよりコルセットに換わり歩行器の夫の足取り吾より速い 森 ゆき子

入選 春色の鍋に鮮やか新わかめ一人しゃぶしゃぶ夫の分まで 荒瀬左知子

入選 嫁よりの手編みの靴下母の日に足にほのぼの温み届きぬ 湯浅佐智子

入選 産土の杜通りぬけ一札す数多の兵士を送りし庭に 佐々木夫美

## 俳句

阿南市俳句連合会 選

巡礼や日照り厳しき四国辺地 河内 順子

流星や儂きものに憧るる 土肥つや子

ままごとの夕餉に添えた赤まんま 末広なおむ

道を訪うためだけに買う鶏頭花 車田マサ子

魂棚に並ぶ位牌や五十超え 清原 栄子

箱釣や泥鰌つかみの夜市立つ 古川北斗星

よしこのリズム聞こえず迎え火焚く 井上 茂美

鬼灯の音確かめる今朝の庭 小笠 茂

灯を消して故郷の螢放しけり 野口 千代

ちち母の五十回忌や百日紅 工藤千鶴子

## 川柳

阿南川柳会 田上鶴子 選

ヒト科またいつか来た道歩くだけ 橋本 征介

今更に同居だなんてご免です 渡邊 浪漫

幸せな心の裏にある未練 二階千代美

今日も雨相田みつをに触れる午後 持木 寿栄

敗戦の苦勞を越えた今がある 滝川 太郎

人のエゴこの世に今はある負担 田上 鶴子

一般応募 友見舞い優しい嘘で元気づけ 島尾美津子

ゲンマンに時効はないと八十路まで 武田 敏子

夕空に大きな虹でいい気分 仁井 信子

スマホ撮るよちよち歩く素足の児 吉田 當代

## 漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

夏日偶吟 神原 常経

牽牛花綻北窓前 牽牛花 綻ぶ 北窓の前

午睡夢醒聞亂蟬 午睡 夢醒めて 乱蟬を聞く

水満青田炎熱散 水は青田に満ちて 炎熱散じ

蛙聲閣閣夕陽天 蛙声 閣閣 夕陽の天

※牽牛花―朝顔

出羽島に白玉藻を訪ぬ 大地 和子

三里航程小渡船 三里の航程 小渡船

漁家晒網港灣邊 漁家網を晒す 港灣の辺

白玉迎吾珍愛藻 白玉吾を迎う 珍愛の藻

村翁熱語爽風前 村翁熱く語る 爽風の前

※珍愛―めづらしい物として大切にす

秋日閑谷學覺を訪ぬ 大野シゲ子

百年楷樹散黃紅 百年の楷樹 黄紅を散ず

精巧石垣秋色中 精巧の石垣 秋色の中

藩校遺芳多篤學 藩校の遺芳 篤学多く

今誇朱殿義方功 今に誇る 朱殿義方の功を

※義方―正しい方向に向かう道



【すだち】徳島県のすだちの生産量は全国1位。ハウス・路地(8~10月)・冷蔵により、周年の供給を行っています。(本市は3~5月に生産が集中する極早期出荷産地)そのすがすがしい香りとさわやかな酸味で、あらゆる食材を引き立てます。